



私たち管理栄養士の役割は入院された患者様の栄養について治療に役立つ栄養提案をすること、かつ安全においしく食べて元気になつていただくよう給食サービスの充実を図ることです。急性期病棟2名、回復期リハビ

り病棟1名の管理栄養士がそれぞれ担当し栄養改善に繋げる取り組みを行っています。入院中の栄養状態や疾病の改善をするだけでは意味がありません。入院される方、施設に戻られる方などさまざまなケースに合わせてそれぞれに合った「実行可能な継続できる食事の提案」の支援を行っています。給食は業務委託ですが、毎月の行事食で季節を感じられるようなメニューを考え提供します。また患者さまのご意見やアンケートをもとに、給食サービスの改善向上に取り組んでいます。

外来通院される患者様におい

ては糖尿病、腎臓病などの疾病進行予防のための栄養相談や、食事アドバイスを行っています。ここでも日常の生活習慣から何が変えられるかを患者様の生活スタイルに合わせ、相談・助言をさせていただきます。栄養改善や数値が良くなることで、笑顔になることは私たちの喜びであります。食事に関するお悩みはございません。地域に根ざした病院ですので、地域の方々が何を求めているのかを意識してください。またみどり病院は地域に根ざした病院ですので、地域の方々が何を求めているのかを意識します。これからも患者様や地域の立場に立つ医療を目指して取

## みどり病院 栄養科の紹介

栄養科科長 和田 万代子

こがねだ診療所は、1998年に関市上白金に開所。現在の所長は森逸治医師です。職員は、看護師7名・事務3名。ほかに、毎週火曜日にみどり病院松井院長の小児科ワクチン接種。金曜日にすこやか診療所所長・横山医師に、診療を担当してもらっています。診療所内に介護保険相談センターこがねだがあり、併設施設としてこがねだデイサービスがあり、介護職員5名、看護師1名、給食配膳2名の職員が在籍しています。

外来診療・訪問診療・関市の特定健診を行っています。長く診療所に通院されている方、通院から訪問診療にかわって毎月お会いしている患者さんもいらっしゃり、頗な医を目指す研修医の研修先となつておらず、森所長の指導のもと、私たち職員と一緒に地域医療に取り組んでいます。

今後も、こがねだ診療所を受診してよかったですと思つていただけるよう、職員一同頑張つてまいります。

こがねだ診療所 事務長 清水 若菜

じみの患者さんが多いです。

診療所の特徴として、介護相談センターとデイサービスがひ

と続きの建物にあるので、医療と介護の連携が非常にとりやす

いことがあります。日常的に、所長・看護師がデイサービ

スに様子を見に行きますし、季節の行事（運動会、クリスマスなど）は、診療所職員もデイサービスの利用者さんと一緒に楽し

みます。

また、診療所は総合診療専門医を目指す研修医の研修先となつておらず、森所長の指導のもと、私たち職員と一緒に地域医療に取り組んでいます。

今後も、こがねだ診療所を受

診してよかったですと思つていただ

けるよう、職員一同頑張つてま

ります。



# 国民平和大行進 2023

岐阜民医連 平和委員会委員長 足立 明彦



2023年5月6日(土)東京(夢の島)を出発した国民平和大行進は5月14日(水)にみどり病院に来ました! 東京から広島までの通し行進者である村上厚子さんは広島在住で原爆の被爆者を親に持つ被曝二世であり、「戦争の準備ではなく、平和以来毎年続けられています。今年は66回目となる、原水爆禁止国民平和大行進が行なわれています。

岐阜民医連の職員は5月14日(水)、関市役所から岐阜市の美江寺公園までの各コース①関市役所→みどり病院②100年バッティングセンター→みどり病院③関市役所→岐阜公園④みどり病院→美江寺公園に33名の職員が参加しました。関市役所から岐阜公園まで行進した新人看護師3名は通し行進者と共にピースコールをしながら岐阜公園に無事に到着しました。

2023年5月6日(土)東京(夢の島)を出発した国民平和大行進は5月14日(水)にみどり病院に来ました! 東京から広島までの通し行進者である村上厚子さんは広島在住で原爆の被爆者を親に持つ被曝二世であり、「戦争の準備ではなく、平和以来毎年続けられています。今年は66回目となる、原水爆禁止国民平和大行進が行なわれています。

岐阜民医連の職員は5月14日(水)、関市役所から岐阜市の美江寺公園までの各コース①関市役所→みどり病院②100年バッティングセンター→みどり病院③関市役所→岐阜公園④みどり病院→美江寺公園に33名の職員が参加しました。関市役所から岐阜公園まで行進した新人看護師3名は通し行進者と共にピースコールをしながら岐阜公園に無事に到着しました。